

「新潟大学キャンパスマスタープラン」について

見直しの背景

- 本学におけるキャンパスの施設整備に関し、従前は「施設長期計画書」(文部科学省了承)に基づき計画的に整備
- 法人化, 組織改編, 財政状況など, 本学を取り巻く環境の大きな変化
- 学内における新たなニーズ

見直し

「新潟大学キャンパスマスタープラン」の作成
～ 魅力的な教育研究環境の創造 ～

視点：
教育研究環境に関し

- ・ 現状の把握・分析
- ・ 社会的要因
- ・ 財政状況等

基本方針

施設整備・維持の基本方針 (長期的視点)

- 既存施設の有効活用によるコンパクトなスペースにより, 最大限の教育研究成果を上げる
- 安全・安心のため, 耐震改修を含む老朽改修を計画的に進める
- 信頼性・安全性の高いエネルギーシステムと経済性を追求
- さらなる創意工夫で環境負荷低減に努める
- キャンパス内緑地の管理・保全・利活用
- ユニバーサルデザインの整備を推進
- 計画的に維持管理を行うための, 維持管理計画を策定

施設マネジメント

- 公的財産である大学施設を有効に活用
- 多様な財源等による, 施設整備手法の導入

優先する施設整備 (短・中期的視点)

- 学生等が魅力を感じる, 学生の視点に立ったキャンパス整備
- 安全・安心な教育研究環境を確保するための整備 (耐震改修・交通対策)
- 先進的医療環境の構築整備
- 省エネルギー対策整備
- 真の全学共有スペースの整備 (競争的資金の導入, 若手研究者支援等)